

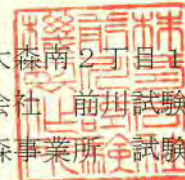
## 校正証明書

依頼者名	一般財団法人建材試験センター 武蔵府中試験室
依頼者住所	東京都府中市四谷6丁目31番10
計量器の設置場所	(名称) 一般財団法人建材試験センター 武蔵府中試験室 (住所) 東京都府中市四谷6丁目31番10
計量器の名称	圧縮試験機 油圧式
型式	油圧式 6段切換 型式 ACA-300A-B2 堅型
能力	圧縮: 3000kN
製造番号	10024 センサー器物番号(M188104)
製造年月	2012年4月
製造者名	株式会社前川試験機製作所
力指示計	デジタル表示
校正レンジ	3000 kN (2000 kN, 1000 kN, 500 kN, 200 kN, 100 kN)
校正方法	JIS B 7721による
実施条件	2 頁のとおり
トランスファ標準器	3 頁のとおり
校正結果	4 頁～5 頁のとおり
受付年月日	2017 年 2 月 27 日
校正年月日	2017 年 4 月 5 日

### 校正結果は以上のとおりであることを証明する

2017年 4月 10日

東京都大田区大森南 2 丁目 1 6 番 1 号  
株式会社 前川試験機製作所  
大森事業所 試験機校正室  
校正証明書発行責任者 前川 徳太郎



- この証明書は計量法第144条(第1項)に基づくものであり、特定標準器(国家標準)にトレーサブルな標準器により校正した結果を示すものです。認定シンボルは、校正した結果の国家標準へのトレーサビリティの証拠です。発行機関の書面による承認なしにこの証明書の一部分のみを複製して用いることは禁じられています。
- この証明書を発行した事業者は、JIS Q 17025 (ISO/IEC 17025) に適合しています。
- この証明書は、ILAC (国際試験所認定協力機構) 及び APLAC (アジア太平洋試験所認定協力機構) の MRA (相互承認) に加盟している IA JAPAN に認定された校正機関によって発行されます。この校正結果は ILAC/APLAC の MRA を通じて、国際的に受け入れが可能です。



# JCSS

## 校正の実施条件

- 1) 一軸試験機の校正は、3 頁に記載した圧縮用力計をトランスファ標準器として用い、一軸試験機の力伝達系を含む力測定系全体に圧縮力を作用させて実施した。
- 2) 予備負荷の回数は 3 回である。
- 3) 予備負荷及び各負荷サイクル間の待機時間は 300 秒以内である。
- 4) 力計指示値の測定は、負荷が試験力に達すると同時に行った。
- 5) 本試験及び校正に必要な機器等は、校正を始める 1 時間前からすべての校正が終了するまで連続して通電が行われた。
- 6) 目視検査・一般検査において異常は認められなかった。
- 7) 付属品はなし。
- 8) 校正実施場所の温度は  $20.2^{\circ}\text{C} \sim 21.4^{\circ}\text{C}$  であり、各レンジを校正中の温度変動は  $\pm 2^{\circ}\text{C}$  以内であった。湿度は  $46.0\% \sim 50.0\%$ 、気圧は  $1014\text{ hPa} \sim 1016\text{ hPa}$  であった。
- 9) 力計の位置を  $0^{\circ}$ 、 $120^{\circ}$ 、 $240^{\circ}$  に変えて実施した。
- 10) 校正を行う最小レンジでは、ピストン位置を有効ストロークの  $20\%$ 、 $40\%$ 、 $60\%$  に変更して実施した。





# JCSS

JCSS 0194

## 校正に使用したトランスファ標準器

管 理 番 号 TR-26  
名称及び器物番号 環状ばね型力計 : 4827  
校正証明書番号 KE16TT-0537  
型式及び定格容量 LD-20D 圧縮力: 200 kN  
指示計型式及び番号 デジタルゲージ : 01506  
不確かさ及び等級 20 kN ~ 200 kN 1級 相対拡張不確かさ  $\pm 0.31\%$   
100 kN ~ 200 kN 0.5級 相対拡張不確かさ  $\pm 0.097\%$   
校 正 温 度 23 °C  $\pm 1$  °C  
校 正 実 施 日 2016 年 12 月 19 日  
内挿校正式の有無 あり

管 理 番 号 TR-37  
名称及び器物番号 環状ばね型力計 : 6359  
校正証明書番号 KE15TT-0551  
型式及び定格容量 LD-100D 圧縮力: 1000 kN  
指示計型式及び番号 デジタルゲージ : 03075  
不確かさ及び等級 100 kN ~ 1000 kN 1級 相対拡張不確かさ  $\pm 0.39\%$   
500 kN ~ 1000 kN 0.5級 相対拡張不確かさ  $\pm 0.17\%$   
校 正 温 度 20 °C  $\pm 1$  °C  
校 正 実 施 日 2015 年 12 月 14 日  
内挿校正式の有無 あり

管 理 番 号 TR-45  
名称及び器物番号 容積型力計 : 105  
校正証明書番号 KE16TT-0536  
型式及び定格容量 SB-300 圧縮力: 3000 kN  
指示計型式及び番号 アナログゲージ : 506  
不確かさ及び等級 300 kN ~ 3000 kN 1級 相対拡張不確かさ  $\pm 0.25\%$   
900 kN ~ 3000 kN 0.5級 相対拡張不確かさ  $\pm 0.17\%$   
校 正 温 度 23 °C  $\pm 1$  °C  
校 正 実 施 日 2016 年 12 月 20 日  
内挿校正式の有無 あり



## 校正結果

校正を行った力指示計: 定格容量 圧縮 : 3000kN

型式記号: ACA-300A-B2

試験力の方向: 圧縮力

### 1. レンジ容量 100 kN 等級 (参考) 1 級

試験力 (kN)	相対偏差 指示誤差(%) $q$	拡張不確 かさ(±%) $U$	相対誤差 (参考) (%)				トランスファ 標準器 管理番号
			繰返性 $b$	零誤差 $f_0$	分解能 $a$	往復 $v$	
20	-0.40	0.37	0.26	0.00	0.20	0.09	TR-26
40	-0.24	0.33	0.13	0.00	0.10	-0.09	TR-26
60	-0.20	0.32	0.03	0.00	0.07	-0.09	TR-26
80	-0.13	0.31	0.02	0.00	0.05	-0.09	TR-26
100	-0.18	0.32	0.07	0.00	0.04		TR-26

### 2. レンジ容量 200 kN 等級 (参考) 1 級

試験力 (kN)	相対偏差 指示誤差(%) $q$	拡張不確 かさ(±%) $U$	相対誤差 (参考) (%)				トランスファ 標準器 管理番号
			繰返性 $b$	零誤差 $f_0$	分解能 $a$	往復 $v$	
40	-0.17	0.36	0.18	0.00	0.25		TR-26
80	-0.02	0.33	0.09	0.00	0.13		TR-26
120	-0.03	0.33	0.15	0.00	0.08		TR-26
160	0.00	0.33	0.14	0.00	0.06		TR-26
200	0.07	0.32	0.06	0.00	0.05		TR-26

### 3. レンジ容量 500 kN 等級 (参考) 1 級

試験力 (kN)	相対偏差 指示誤差(%) $q$	拡張不確 かさ(±%) $U$	相対誤差 (参考) (%)				トランスファ 標準器 管理番号
			繰返性 $b$	零誤差 $f_0$	分解能 $a$	往復 $v$	
100	-0.37	0.41	0.10	0.00	0.20		TR-37
200	-0.23	0.41	0.15	0.00	0.10		TR-37
300	-0.21	0.39	0.03	0.00	0.07		TR-37
400	-0.23	0.39	0.02	0.00	0.05		TR-37
500	-0.23	0.39	0.02	0.00	0.04		TR-37





## 校正結果

### 4. レンジ容量 1000 kN 等級 (参考) 1 級

試験力 (kN)	相対偏差 指示誤差(%) $q$	拡張不確 かさ(±%) $U$	相対誤差 (参考) (%)				トランスファ 標準器 管理番号
			繰返性 $b$	零誤差 $f_0$	分解能 $a$	往復 $v$	
200	-0.30	0.43	0.19	0.00	0.20		TR-37
400	-0.27	0.40	0.02	0.00	0.10		TR-37
600	-0.28	0.40	0.10	0.00	0.07		TR-37
800	-0.34	0.39	0.04	0.00	0.05		TR-37
1000	-0.31	0.39	0.02	0.00	0.04		TR-37

### 5. レンジ容量 2000 kN 等級 (参考) 1 級

試験力 (kN)	相対偏差 指示誤差(%) $q$	拡張不確 かさ(±%) $U$	相対誤差 (参考) (%)				トランスファ 標準器 管理番号
			繰返性 $b$	零誤差 $f_0$	分解能 $a$	往復 $v$	
400	-0.20	0.39	0.42	0.00	0.25		TR-45
800	-0.03	0.38	0.46	0.00	0.13		TR-45
1200	-0.08	0.30	0.14	0.00	0.08		TR-45
1600	-0.06	0.30	0.14	0.00	0.06		TR-45
2000	-0.09	0.30	0.05	0.00	0.05		TR-45

### 6. レンジ容量 3000 kN 等級 (参考) 1 級

試験力 (kN)	相対偏差 指示誤差(%) $q$	拡張不確 かさ(±%) $U$	相対誤差 (参考) (%)				トランスファ 標準器 管理番号
			繰返性 $b$	零誤差 $f_0$	分解能 $a$	往復 $v$	
600	-0.05	0.33	0.14	0.00	0.33	0.33	TR-45
1200	-0.08	0.30	0.11	0.00	0.17	0.20	TR-45
1800	0.01	0.30	0.05	0.00	0.11	0.00	TR-45
2400	-0.07	0.30	0.09	0.00	0.08	-0.08	TR-45
3000	-0.16	0.30	0.09	0.00	0.07		TR-45

- 1). 上記拡張不確かさは信頼水準約95%に相当し、包含係数  $k$  は2である。
- 2). 拡張不確かさはJCSS技術ガイド(JCG204S21 不確かさの見積もりに関するガイド 力/一軸試験機)に従って算出した。

以下余白